

尾添川水域水生動物調査報告書

1989年3月

石川県白山自然保護センター

あいさつ

イワナ・カジカは白山の溪流に生息する代表的な陸封淡水魚であり、この地域の在来種として各水系に豊富に生息していました。近年、イワナやカジカの生息数はどの河川でも以前に比べると非常に少なくなりました。その原因として、一つには溪流釣りの人が増えたことがあげられています。また 白山麓のイワナのすむ谷は、元来荒れ谷が多く、治山・治水、水力発電事業が各所で施行され、また、道路建設のために谷の形が変えられてきたことも大きな要因と考えられています。

かつてイワナの宝庫といわれた手取川の支流である尾添川水域においても、1977年の白山スーパー林道開通後には、イワナが絶滅するのではと心配されるほどになりました。白山自然保護センターでは、当水域のイワナを復活させるとともに、白山国立公園内に川のサンクチュアリーをつくるため、魚類の捕獲を禁止することを、石川県内水面漁場管理委員会に要望し、1983年から尾添川の支流である蛇谷流域の9.0km が禁漁区に設定されました。

これを契機に、白山自然保護センターでは、1984年（昭和59年度）から5年計画で「尾添川水域水生動物調査」を開始しました。尾添川禁漁区のイワナの個体数回復過程の追跡調査を中心にイワナ、カジカ、水生昆虫の生態および自然環境の調査を実施してきました。本報告書はこの5年間の調査結果に検討を加え、取りまとめたものです。この成果をふまえ、陸上動植物保護のみならず河川環境をも含めた総合的な見地から白山の自然環境保全に努めてゆく所存であります。

本調査に際しては、丸山 隆、谷田一三、田中哲夫、中村智幸の各氏には、ご多忙中にもかかわらず本調査に御協力をいただきました。また、石川県内水面漁場管理委員会、石川県水産課、尾口・吉野谷村漁業協同組合には調査に際し、多くの御協力並びに御意見をいただきました。記して、感謝する次第です。

平成元年3月

石川県環境部長

藤沢 稔

目 次

I	尾添川禁漁区設定及び尾添川水域水生動物調査の経緯	1
II	尾添川水域におけるイワナ・カジカ・水生動物の動態	
	1. 尾添川水域のイワナ（要約）	2
	2. 尾添川水域のカジカ	8
	3. 尾添川水域の底生動物（要約）	10
	4. 河床変動	11
	5. 本州のイワナの保護と県内の現状	13
III	尾添川禁漁区のありかた	
	1. 蛇谷のイワナとその生息環境の保護と管理について	
	丸山 隆・中村智幸	16
	2. 尾添川禁漁区の底生動物群集からみた河川環境と イワナの保護について	37
	谷田一三	
	3. 潜水目視によるイワナの個体数推定	
	田中哲夫・中村智幸	41
	4. イワナの遊泳定位点の流速	44
	田中哲夫・中村智幸	
	5. まとめ（尾添川禁漁区の保護と管理）	46
IV	資 料	
	1. 蛇谷及び途中谷禁漁区（白山、尾添川水系）の底生動物群集 と河川環境の長期変動	谷田一三
	2. 石川県手取川水系蛇谷における禁漁後の イワナ個体群の回復過程	中村智幸・丸山 隆
	3. イワナと溪流釣についての意識調査	野崎英吉
	4. 本調査に関連する報文、発表等一覧	